第４号様式（第６条関係）

令和８年　４月　　６日

戸田市共創のまちづくり補助金応募用紙（行政提案、市民提案事業補助）

（宛先）
戸田市長

団体名　　戸田市まちづくり応援団

代表者職・氏名　　代表　横山　誠

所在地　　[redacted]

補助種別	■　行政提案事業補助（テーマ名：多文化共生の推進） □　市民提案事業補助	
新規・継続	□　新規	■継続（　２年目）
事業名	多文化共生推進事業	
関係部署名	※応募する事業について、事前に相談した課名を記入してください。 協働推進課	
実施期間	令和８年４月１日　～　令和９年２月２８日	
確定前交付の希望	■　希望する	□　希望しない
申請中又は交付予定の他の補助制度	名称	
	実施主体	
連絡担当者	氏名	[redacted]
	住所	[redacted]
	電話	[redacted]
	Fax	[redacted]
	E-mail	[redacted]

≪団体の概要≫

団体名	戸田市まちづくり応援団
ホームページ	http://todashimachizukuri-ouendan.org/
設立年月日	2023 年　12 月　17 日　　設立
会員数	9　人
年会費	1000 円／１年間
団体の目的	戸田市自治基本条例に則り、住みよいまちづくりの推進とまちづくりを担う個人、団体を応援することを目的とする。
主な活動実績	1. やさしい日本語交流会「Meetup」の開催 やさしい日本語講座とやさしい外国語講座の開催と交流会 令和 7 年 11 月 1 日(土)、令和 8 年 1 月 17 日(土)、2 月 23 日(月)、やさしい日本語ワークブックの作成 2.「ランチ Meetup」の開催 毎月第 3 土曜日　12 時 15 分より やさしい日本語による交流会 3. 活動案内リーフレット、お困りごと相談カードの作成と配布 4. 戸田市元気体操教室&おしゃべりサロン「おりぃぶ」の開催 毎月第 2 第 4 火曜日 10 時より 会場:戸田福音自由教会
昨年度の補助金等の援助状況	令和 7 年度戸田市共創のまちづくり補助金 コース:行政提案事業補助金　269,771 円 令和 7 年度戸田市社会福祉協議会 地域支え合い助成金　30,000 円
団体ＰＲなど	当団体は 2023 年 12 月に設立された市民団体で、戸田市自治基本条例の理念に基づき、協働によるまちづくりを推進する活動をしています。団体設立の目的は、①戸田市自治基本 条例に基づく 3 者協働のまちづくりの推進、②地域課題に取り組 む個人や団体の紹介、③市民相互の連携を図り、市民が自ら地域課 題を解決する意識の醸成、④多文化共生の推進です。現在は多文化 共生プロジェクトとして「やさしい日本語交流会 Meetup」の企画 運営、高齢者支援プロジェクトとして「戸田元気体操教室おりぃぶ」と「おしゃべりサロン」の企画運営を行い、地域課題の解決に向けて取り組んでいます。

≪事業企画書≫

1　事業の目的・必要性

本事業の目的は、「やさしい日本語交流会」と「ランチ Meetup」を軸として、日本人市民と外国人市民が 地域の中で互いを理解し、安心して関わることのできる環境を整えることである。特に、今年度は日本人市民の意識啓発と行動変容を重視し、単発の交流にとどまらず、地域の中でやさしい日本語が自然に使われる 土壌づくりを進めたい。

戸田市を含む県南地域では、外国人市民が暮らし、学び、働くことが日常の風景となっている一方で、行政手続、病院受診、学校、買い物、ごみ出し、防災など、生活のさまざまな場面で言葉と情報の壁が生じやすい。日本人市民の側にも『どう声を掛けてよいか分からない』『トラブルが起きたら困る』という戸惑いがあり、これが距離感や先入観につながりやすい。 そこで本事業では、やさしい日本語を学び、実際に使ってみる場として「やさしい日本語交流会」を継続する。また、より気軽で継続的な接点づくりとして「ランチ Meetup」を定例実施し、制作物としては、日本人向けの活動紹介リーフレット、やさしい日本語ワークブック、お困りごと相談カードを引き続き作成・印刷する。さらに今年度は、新たに外国人市民向け活動紹介リーフレットを 7-9 月に製作し、加えて外国人市民向けの共生防災ワークショップを企画・実施する。

これにより、次の 5 つの効果を目指す。

① コミュニケーションの円滑化

日本人市民と外国人市民が、やさしい日本語を介して互いに意思疎通できる場を増やす。

② 地域参加の促進

外国人市民がイベント、地域活動、相談窓口等につながる入口を得られるようにする。

③ 日本人市民の意識変革

『支援する／される』の一方向ではなく、共に暮らす隣人として理解し合う視点を育てる。

④ 生活不安の軽減

活動紹介リーフレットや相談カード、防災ワークショップを通して、生活上の困りごとを早めに整理できるようにする。

⑤ 多文化共生の基盤整備

戸田市内での実践を通して、近隣自治体とも共有可能なモデルを育てる。

2　事業を実施するに当たっての現状や課題

昨年度までの活動を通して、以下の様な現状と課題を認識している。

・認知不足

やさしい日本語の考え方そのものが、まだ市民全体に十分浸透していない。
イベントの存在を知らず、参加のきっかけを持てない人も多い。

・継続接点の不足

単発の交流会だけでは関係性が深まりにくく、継続的に顔を合わせる場が必要である。

・情報の届き方の偏り

これまでの制作物や案内は日本人市民向けが中心であり、外国人市民本人に直接伝わる情報設計が十分ではなかった。

・生活相談への導線の弱さ

困ったときにどこへ相談すればよいかが分からず、地域の中で孤立するおそれがある。

・防災分野の課題

災害時の行動、避難所、非常時持出品などは、言語や文化の違いによって理解しづらく、平時からの備えが必要である。

3　事業の具体的内容

今年度は、以下の様な 4 つのレーンで事業を進める。

Ⅰ啓発

■「やさしい日本語講座」の開催

開催時期：2026 年 6 月 27 日(土)、11 月 21 日(土)、2027 年 2 月 23 日(火)
対象:日本人市民、町会、企業、学校
内容:やさしい日本語の目的、意義、習得
ねらい:地域生活での共通言語となる日本語を、外国人にもつたわりやすく話せるようにする
開催方法:やさしい日本語交流会、出前ミニ講座

■日本人向けリーフレットの製作・印刷・配布

内容:活動(やさしい日本語講座、ランチ Meetup、お困りごと相談等)を紹介し、参加を促進するためのリーフレット。昨年製作のリーフレットの部分的修正。
仕様:カラー両面(A4 三つ折り)
印刷枚数:1000 枚
完成:7 月初旬を予定
希望配架:協働推進課をはじめ、市役所、市内各施設、商工会を通じ各企業。

■外国人向けリーフレットの製作・印刷・配布

内容:外国人市民に対して活動(やさしい日本語講座、ランチ Meetup、お困りごと相談等)を紹介し、参加を促進するためのリーフレット。お困りごとの窓口の提示とまちづくりへの参画促し。新規作成。説明文はやさしい日本語と中国語、ベトナム語、英語を併記の予定。

仕様:カラー両面(A4 三つ折り)

印刷枚数:1000 枚

完成:9 月末を予定

希望配架:協働推進課をはじめ、市役所、市内各施設、商工会を通じ各企業、日本語学校等。

■やさしい日本語講座用ワークブックの増刷

対象:やさしい日本語講座参加者、ボランティア、関係者

内容: やさしい日本語の意義、基本、話し方・書き方、戸田での生活場面の例

ねらい:学び直しが出来るき教材の提供

Ⅱ交流

■「やさしい日本語交流会」の開催

開催日:6 月 27 日、11 月 21 日、2 月 23 日　　@あいパル多目的室

対　象:日本人市民と外国人市民　参加目標:30 名

費　用 : 講座参加者のみ 500 円。

内　容:やさしい日本語講座、やさしい外国語講座、ことばの交流タイム

交流会:生活・文化・芸術・防災等に関する対話

ねらい:日本人市民にとっては、やさしい日本語の学びと実践の機会

外国人市民にとっては、日本語会話の機会と日本人との交流の場

■「ランチ Meetup」の開催

開催日:毎月第三土曜日 12:30- @あいパル多目的室

対　象:日本人市民と外国人市民　参加目標:15 名

費　用 : 100 円

内　容:昼食を共にしながらの交流、日本語会話、相談や情報交換

ねらい:継続的に顔の見える関係をつくり、地域参加への入口とする。

Ⅲ伴走

■お困りごとカードの製作・印刷・配布

仕様:名刺サイズ、カラー両面

印刷枚数:1000 枚

完成:7 月末を予定

対象:外国人市民

内容:お困りごとの例、相談先 QR コード、中国語とベトナム語で「困った時には相談してください」を追記。

ねらい:問題の早期把握と適切な相談先への接続支援

Ⅳ防災

■「多文化共生防災ワークショップ」の開催

開催日:年二回（時期未定）　　@あいパル、戸田福音自由教会

対　象:外国人市民と日本人市民　参加目標:30 名

内　容:地震時の行動、避難所、備蓄、連絡方法、戸田での防災情報の見方など

ねらい:災害時の不安を減らし、平時からの備えを促す。

4　事業の実施体制

■リーフレットの作成･印刷

日本人向けリーフレット(増版)

現行を再利用し、一部を修正・削除。編集、印刷は業者に委託。

外国人向けリーフレット(新規)

ボランティアと業者による企画。編集、印刷は業者に委託。

■やさしい日本語交流会 Meetup

【事前準備】

会場の確保、茶菓と備品の準備　　ボランティアにより準備

Meetup のチラシの作成と印刷　　ボランティアにより作成、印刷

SNS による情報発信　協働推進課(戸田市)による戸田市公式 SNS での発信

戸田市まちづくり応援団 HP での発信

ボランティアによる FB、インスタグラム配信

戸田公園ガイドへの掲載

業者によるホームページ保守・管理

チラシの市内公共施設への配架　　協働推進課

【当日】

やさしい日本語講座 1-2 名の日本語教師経験者

やさしい外国語講座 市内在住の外国人

会場設営、茶菓準備、進行、テーブルマスター　5 名ほどのボランティア

グーグルフォームによるアンケート集計

活動報告をホームページ上にアップ　　数名のボランティア

運営全般　　当会員とボランティア

■ランチ Meetup

【事前準備】

会場の確保、チラシの作成と印刷　　ボランティアにより作成

SNS による情報発信　　協働推進課(戸田市)による戸田市公式 SNS での発信

戸田市まちづくり応援団 HP での発信

ボランティアによる FB、インスタ配信

戸田公園ガイドへの掲載
業者によるホームページ保守・管理

チラシの市内公共施設への配架　協働推進課

【当日】

会場設営、進行、テーブルマスター	3名ほどのボランティア
グーグルによるアンケート集計	
活動報告をホームページ上にアップ	ボランティア
運営全般	当会員とボランティア

■やさしい日本語ワークブック

【内容】 昨年度作成した「やさしい日本語ワークブック」に一部修正（表現方法、最新数値情報等）を加えて印刷

仕様:B5 カラー 38 ページ 完成:8 月末

部数:100 部

内容:1.日本語を学ぶ外国人 2.外国人の日本語力 3.やさしい日本語とその必要性 4.学ぼう、やさしい日本語【話し言葉編】 5. 学ぼう、やさしい日本語【書き言葉編】 6.実践、やさしい日本語 7.答え参考例、参考文献、おわりに

■お困りごと相談カード

現行カードを再利用し、一部を修正・削除。編集、印刷は業者に委託。

■多文化共生防災ワークショップ

【事前準備】

企画立案	当団体、協力団体
会場の確保	当団体、協働推進課
チラシの作成と印刷	業者へ委託
SNS による情報発信	協働推進課(戸田市)による戸田市公式 SNS での発信
	戸田市まちづくり応援団 HP での発信
	ボランティアによる FB、インスタグラム配信
	戸田公園ガイドへの掲載
	業者によるホームページ保守・管理
チラシの配架	協働推進課、トマト、協力団体、企業、日本語学校等

【当日】

会場設営、進行、テーブルマスター	ボランティア
ワークショップファシリテーター	オペレーションブレッシング
グーグルによるアンケート集計	
活動報告をホームページ上にアップ	ボランティア
運営全般	当会員とボランティア

5　事業実施のスケジュール

月　日	内　　容
日本人向けリーフレットの作成 4-6 月	変更部分の打ち合わせ、編集、印刷
お困りごと相談カードの作成 5 月	変更部分の打ち合わせ、編集、印刷
外国人向けリーフレットの作成 7-9 月	リーフレットの打ち合わせ、作成・印刷
ランチ Meetup の開催 毎月第３土曜日(11 回)	3 ケ月前に予約、料金支払い　毎月 チラシの作成、印刷　毎月 SNS 発信　毎月 毎月第三土曜日(4 月～2 月)にあいパルで開催 ランチ Meetup 後に反省と企画会議
やさしい日本語交流会の開催 第１回 ６月 27 日(土)13:30 第２回 11 月 21 日(土)13:30 第３回２月 23 日(火)10:30	 4 月中旬～6 月初旬 諸準備(プログラムの検討、講師依頼、チラシの作成、情報の発信) 6 月 27 日第 1 回やさしい日本語交流会 Meetup 開催 9 月中旬～10 月末 諸準備(プログラムの検討、講師依頼、チラシの作成、情報の発信) 11 月 21 日第 2 回やさしい日本語交流会 Meetup 開催 1 月中旬～2 月中旬 諸準備(プログラムの検討、講師依頼、チラシの作成、情報の発信) 2 月 23 日第 3 回やさしい日本語交流会 Meetup 開催
やさしい日本語ワークブック作成 4-8 月	既存ワークブックの修正・追加の洗い出し。編集、印刷

6　事業の成果目標（具体的数値を用いてください。）

【数値目標】

やさしい日本語交流会	30 名× 3 回	延べ人数　90 名
ランチ Meetup	15 名×11 回	延べ人数 165 名
防災ワークショップ	30 名× 2 回	延べ人数　60 名

【質的目標】

・日本人市民が、外国人市民に対して『どう声を掛ければよいか分からない』状態から一歩進み、やさしい 日本語で話してみようとする。

・外国人市民が、地域活動に参加してよいのだと感じ、交流会やMeetupに安心して参加できるようになる。
・困りごとが起きたとき、相談カードやリーフレットを通して、相談先や支援の入口を把握できるようになる。
・防災を通して、日本人市民と外国人市民が『一緒に備える地域の仲間』として認識し合うきっかけをつくる。

【測定方法】

・交流会、ランチMeetup、防災ワークショップ後に簡易アンケートを実施する。
・参加人数、再参加率、制作物配布数、相談につながった件数、当事者の声を整理する。
・日本人市民については、『やさしい日本語を使ってみようと思うか』『外国人市民への見方に変化があったか』を確認する

7　今後の展望

■地域展開

・やさしい日本語の出前講座やミニ交流会を、町会、学校、教会、企業、公共施設等へ広げる。

■外国人市民向け支援の強化

・生活情報、防災、子育て、教育、認知症家族など、テーマ別の情報提供へ発展させる。

■連携の拡大

・戸田市内の関係部署・関係団体に加え、近隣自治体や近隣の多文化共生活動団体とも学び合う。

8　役割分担

（申請団体の役割）

交流会、ランチMeetup、制作物、防災ワークショップの企画・運営。ボラン ティア調整。活動内容の発信。相談導線の初期整備。

（市の役割）

情報発信面での協力、配架支援、関係部署・関係機関との接続、必要に応じた 制度的支援。

（協働することの必要性、相乗効果等）

行政・関係機関の信頼性と、市民団体の小回り・伴走力を組み合わせることで、外国人市民にも日本人市民にも届く実践が可能となる

≪収支予算書≫

【収入】

科　目		予 算 額	内　訳
補助金・助成金	当補助金	440,760-	
	その他		
自己資金			
会費			
利用者負担金			
協賛金・寄附			
その他			
合　計		440,760-	

【支出】

	科　目	予 算 額	内　訳
補助対象経費	使用料	43,780-	やさしい日本語交流会　多目的室4・5 使用料、設備費　4,660-×3回　13,980- ランチMeetup　多目的室2 or 3 使用料　920-×11回　10,120- Meetupボランティア会議　和室2 使用料　260-×11回　2,860- 多文化共創防災ワークショップ 使用料、設備費　4,660-×2回　9,320- 駐車料　5,000- ドメイン　2,500-
	食糧費	30,000-	参加者への飲料・お菓子代 やさしい日本語交流会　3回 多文化共創防災ワークショップ　2回 6,000-×5回　30,000-
	委託費	166,300-	外国人向けリーフレット(新規)　45,000- 日本人向けリーフレット　17,000- お困りごと相談カード　10,000- 戸田公園ガイドSNS掲載　11回　36,300- HP管理運用　55,000- 振込手数料　3,000-
	印刷製本費	125,680-	やさしい日本語ワークブック　33,130-

			チラシ印刷　2,470×5回　12,350- ポスター　6,360×5回　31,800- ランチMeetupチラシ(80枚×11×50円)　44,000- ランチMeetupポスター(5枚×11×80円)　4,400-	
	消耗品費	20,000-	事務用品　20,000-	
	謝礼金	55,000-	やさしい外国語講座(3回×5,000-)　15,000- ワークショップファシリティター　40,000-	
小計		440,760-	内訳	補助金申請額：　440,760- 自主財源：　0-
補助対象外経費				
小　計		0-		
		440,760-		